

「はまかぜ」(金沢版)

平成 29 年 1 月 13 日号

連載 第85回

横浜市議員 おばた正雄氏 横浜を語る



感謝の心で金沢づくり
横浜から日本を創る!

市会議員
おばた正雄

〈プロフィール〉

昭和54年より横浜市議員。10期。

〈ご相談・ご連絡先〉

事務所: 金沢区谷津町332

TEL: 045-783-7869

FAX: 045-786-5315

obatamasao17@gmail.com

おばた正雄HP

金沢区制70周年の準備を!

出生数100万人割れ、子ども子育て支援策の強化を!

新しい年が区制70周年の課題
明るく良い年 来年の5月15日
になることを 金沢区制70周年
心から願い、 を迎えます。金沢
国と本市と金 区の様々な課題を
沢区の課題に 検証し50年先を展
取組みます。 望した区づくり政
また、これま 策が必要です。ま
で以上に身を ず、文化都市金沢
切る改革に取 としての総合的な
組み行財政改 文化観光施策を考
革や地方分権 えましよう。
の推進に全力 そこで、金沢区
を注ぎます。 制70周年の目玉政

策として金沢区民
文化センターの計
画を含め、2つの
大学がある金沢区
を教育・文化・観
光都市としての政
策を区民の協働で
立案しましょう。
次に、人口減少問
題です。金沢区が
磯子区から分区し
た昭和23年の人口
は5万2千人弱で
したがピークの平
成18年には21万
2624人に達し
ました。しかし翌年
から人口減少が続
きました。11月には
20万1400人に
なりました。この10
年間に1万1200
人以上の減少です。
その結果、金沢区
には空家が8千戸
もでき、この利活用
が急務です。

出生数
100万人割れ
日本の危機

さて、昨年の日本
で生まれた子ども
の数が、統計開始
以来100万人を
割る危機的な状況
になったことが明
らかにになりました。

日本を再生させる
ためには、国も本
市も若い世代を応
援し、安心して子
どもを産み育てる
ことができる少子
化対策と、働き方
改革とともに、国
が十分な財源を投
入することが必要
になります。

フランスやスウ
エーデン、フィン
ランドでは国の手
厚い支援により、
高い出生率と就労
を両立させていま
す。家族関係支
持が国内総生産
(GDP)に占める
割合は3%前後で
すが日本は半分以
下です。若者・子
育て支援こそ、高
齢化対策や年金問
題の解決、景気対
策につながります。
政府は希望出生
率1.8の実現を
経済対策の柱に掲
げて様々な政策を
打ち出しています
が、少子化対策は
厚生労働省や内閣
府などの複数の省
庁にまたがりま
す。国を挙げて取
り組むべきです。
私は、昨年の市
会では、本市の子
ども・子育て・若
者の支援策の強化
について、林市長
に3度にわたり質
問と提言を行いま
した。今年も引き
続き、これらの問
題に取り組みます。

出生数
100万人割れ
日本の危機